

MAX[®]

証券コード:6454



MAX REPORT

株主のみなさまへ

83期報告書

自平成25年4月1日 ▶ 至平成26年3月31日

経営基本姿勢

顧客の支持を高め、いきいきと楽しく力を合わせ
皆揃って成長していく集団を目指す

1.顧客を知る、現場を知る経営に徹する

自分達の顧客は誰か。そしてその顧客を知るために、また自らを知るために、「現場」「現物」「現実」の三現主義を徹底して実践し、その問題の原因、課題を解決することで顧客価値を高め、企業価値を高めます。

2.ガラス張りの経営に徹する

連結決算を重視し、一般に公正妥当な会計基準に基づき、企業の方針、業績、実態を適時・適切に社内外に公開してまいります。

3.全員参画の経営に徹する

社員は仕事を通して積極的に経営に参加し、それぞれの役割の中で事業成果を拡大してまいります。

4.成果配分の経営に徹する

結実された成果は、「株主」「社員」「社会」に公正に配分してまいります。

経営方針

1. 収益力の強化 2. 成長事業の確立 3. 自ら考え、行動を起こす

もくじ

経営基本姿勢・経営方針	1	セグメント別の概要	5・6
株主のみなさまへ	2	次期経営計画について	7・8
財務ハイライト	3	会社情報/株式の状況	9
連結財務諸表	4	利益配分に関する基本方針/配当/株主メモ	10

※本資料の将来に係わる記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。
実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日ごろから格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、「現場」「現物」「現実」の三現主義を全社・全組織において実践して顧客の問題、課題を解決することで、顧客価値を高め、企業価値を高めてまいります。

ご報告

当期の概要について

当期(平成26年3月期)におけるわが国経済は、政府による経済対策が下支えとなり、企業収益の改善や個人消費の増加など、景気回復の期待が高まることとなりました。また、消費税率の引き上げを前提とした駆け込み需要を背景に、国内の新設住宅着工戸数も大幅な増加となりました。米国においても、緩やかな景気回復にともない新設住宅着工戸数が増加するなど、明るい兆しを見せる一方で、アジア新興国では成長鈍化や通貨不安が継続するなど、当社グループを取り巻く世界経済は依然として先行き不透明な状況となりました。

このような環境の下で当社グループは、当期の経営方針を『顧客との結びつきをさらに深め、顧客を知り、顧客の支持を高める』とし、「現場」「現物」「現実」の三現主義を全社・全組織において実践して顧客の問題、課題を解決することで、顧客価値を高め、企業価値を高めてまいりました。

この結果、売上高は647億9千1百万円(前期比12.5%の増収)、営業利益は45億8千3百万円(同13.8%の増益)となりました。経常利益は、48億2千5百万円(同3.5%の増益)、当期純利益は28億9百万円(同12.8%の増益)となりました。

今期の見通し

国内および米国の経済環境は回復基調にある一方、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動で、国内の新設住宅着工戸数は減少が見込まれます。また、アジア新興国においては成長鈍化や緊縮的な金融政策が継続するなど、当社グループを取り巻く状況は依然として予断を許さない状況にあります。

このような状況下で、収益を生み出す企業体質への変革を目指し、①全社コストの削減と工場再編②各事業における収益改善の加速③海外事業拡大と買収したライトハウス社の活用を進めることで、収益の拡大に取り組んでまいります。

平成27年3月期の売上高は650億円(前期比+0.3%)、営業利益は52億円(同+13.5%)、経常利益は53億6千万円(同+11.1%)、当期純利益は31億円(同+10.3%)を計画しています。

今後とも株主のみなさまには、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

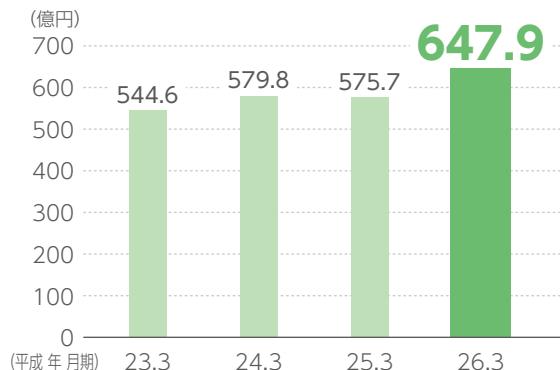


代表取締役社長

川村 八郎

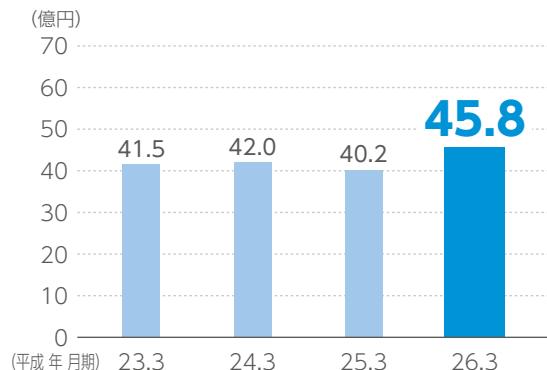
連結損益計算書の概要

売上高



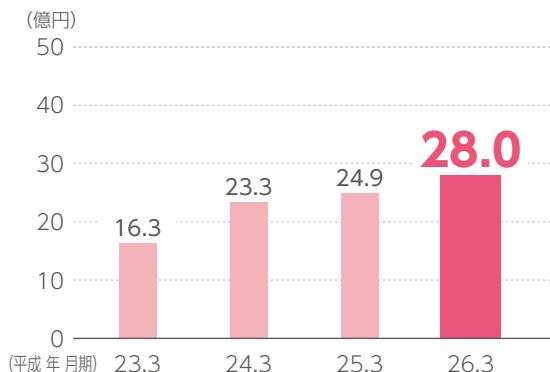
円安の増収効果と好調な国内新設住宅着工により、増収となりました。

営業利益



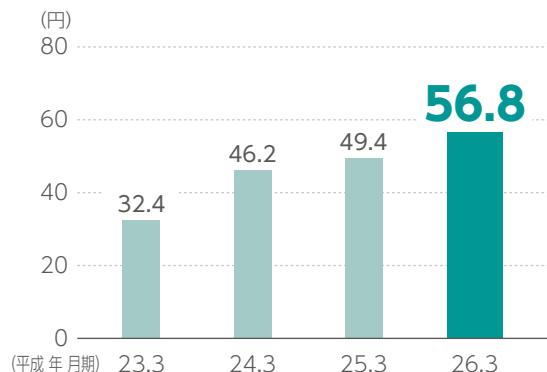
営業利益は増収を背景に増加し、営業利益率は前期と同水準となりました。

当期純利益



拠点再編に伴う減損損失を計上しましたが、3.1億円の増益となりました。

1株当たり当期純利益



当期純利益の増加により、前期の49.4円から56.8円に増加しました。

連結財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 (平成25.3.31現在)	当連結会計年度 (平成26.3.31現在)
資産の部			
流動資産		43,783	38,916
固定資産		40,056	45,641
有形固定資産		18,514	17,586
無形固定資産		221	254
投資その他の資産		21,319	27,799
資産合計		83,839	84,557
負債の部			
流動負債		12,649	11,698
固定負債		7,405	10,863
負債合計		20,055	22,562
純資産の部			
株主資本		65,486	64,290
その他の包括利益累計額		△ 2,006	△ 2,401
少数株主持分		304	105
純資産合計		63,784	61,995
負債・純資産合計		83,839	84,557

損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 (皇 平成24.4.1 皇 平成25.3.31)	当連結会計年度 (皇 平成25.4.1 皇 平成26.3.31)
売上高		57,570	64,791
売上原価		35,440	40,822
売上総利益		22,130	23,968
販売費及び一般管理費		18,104	19,385
営業利益		4,026	4,583
営業外収益		790	395
営業外費用		155	152
経常利益		4,661	4,825
特別利益		208	206
特別損失		698	506
税金等調整前当期純利益		4,171	4,525
当期純利益		2,490	2,809

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

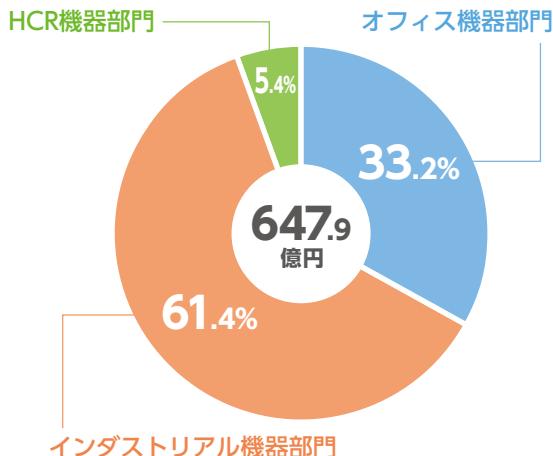
科目	期別	前連結会計年度 (皇 平成24.4.1 皇 平成25.3.31)	当連結会計年度 (皇 平成25.4.1 皇 平成26.3.31)
現金及び現金同等物の期首残高		14,387	16,073
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,779	4,801
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,207	△ 6,090
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,200	△ 3,901
現金及び現金同等物に係る換算差額		315	143
現金及び現金同等物の増減額		1,686	△ 5,047
現金及び現金同等物の期末残高		16,073	11,025

Point

- 1 投資有価証券が増加したことなどにより、固定資産が増加しました。
- 2 退職給付に係る負債の会計制度の変更により、増加しています。
- 3 為替差益や受取利息の減少から、減少しています。
- 4 投資有価証券の取得による支出などにより、減少しています。
- 5 営業活動によるキャッシュ・フローの収入に対して、投資・財務活動によるキャッシュ・フローによる支出が増加したことにより、減少しました。

セグメント別の概要

● 平成26年3月期売上高構成比



オフィス機器部門

- ・ オフィス事業は、主力のホッチキスをはじめとした文具や事務機械を通じてオフィスワークをサポートしています。
- ・ オートステープラ事業は、複写機メーカーに搭載される電子ホッチキスおよび消耗品を供給しています。

インダストリアル機器部門

- ・ 機工品事業は、主力の釘打機をはじめとした木造建築用の工具、コンクリート構造物向けの建設用工具などを販売しています。
- ・ 住環境機器事業は、浴室暖房換気乾燥機、24時間換気システムなどを通じて、住まいの快適環境づくりを提案しています。

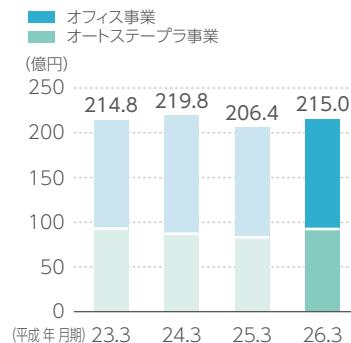
HCR機器部門

- ・ 車いすや歩行器など移動機器の供給を通じて、高齢者の自立生活を支援しています。

■ オフィス機器部門



売上高推移



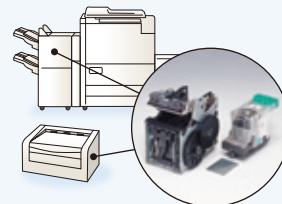
オフィス事業

国内は紙針ホッチキスが売上高に寄与するも、タイムレコーダーの減少で微減収となりました。一方、海外はエリアマーケティングを強化した結果、増収となりました。

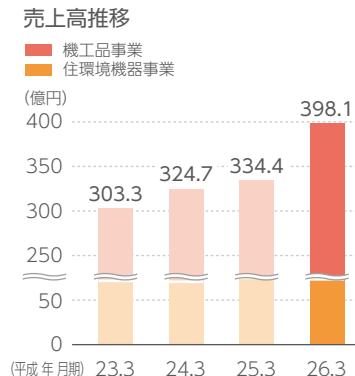


オートステープラ事業

第4四半期単独ではOEM先の複写機生産が減少しましたが、年間を通じた機械・消耗品の出荷量は増加し、事業全体で増収となりました。



■ インダストリアル機器部門



機工品事業

国内は消費税率引き上げ前の駆け込み需要により主要商品群の出荷量が増え、海外は米国での新設住宅着工戸数の増加などから好調で、増収となりました。

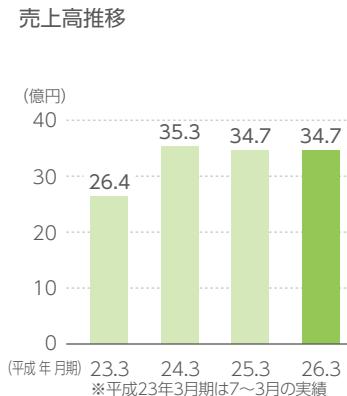


住環境機器事業

マンション着工が緩やかに回復したことにより、主力の浴室暖房換気乾燥機ならびに換気システムや空気清浄機の販売が好調で、増収となりました。



■ HCR機器部門



HCR機器部門

新製品の歩行器が好調でしたが、アルミ製標準車いすなどの販売が減少したことにより、前年水準となりました。

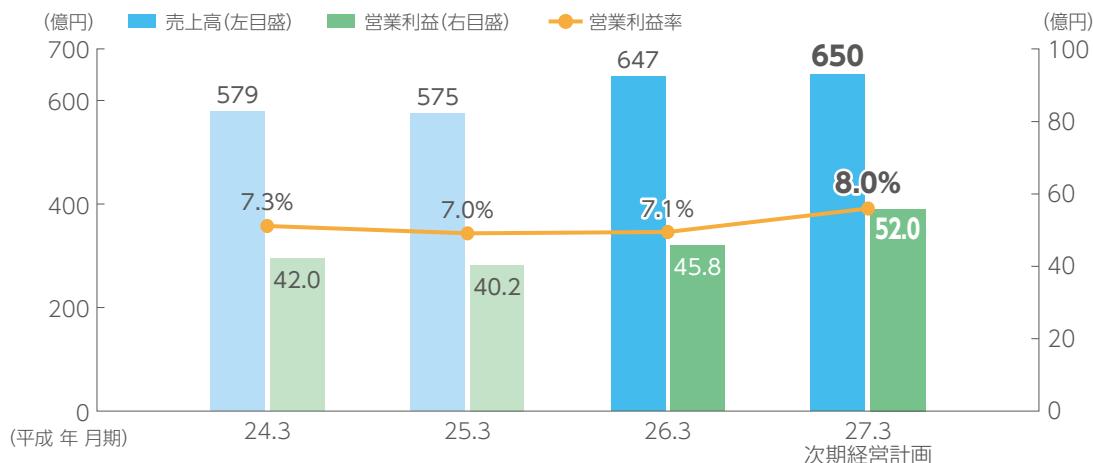


次期経営計画について

■ 経営戦略の基本的な考え方

収益を生み出す企業体質への変革を目指す
「事業の収益力の強化と成長事業の確立」

■ 売上高・営業利益推移



■ 次期経営計画指標

	前々期 (平成24年3月期)		前期 (平成25年3月期)		当期 (平成26年3月期)		次期 (平成27年3月期)	
	実績	増減率 (%)	実績	増減率 (%)	実績	増減率 (%)	計画	増減率 (%)
売上高 (億円)	579	6.5	575	△ 0.7	647	12.5	650	0.3
営業利益 (億円)	42	1.3	40	△ 4.3	45	13.8	52	13.5
売上高営業利益率 (%)	7.3	—	7.0	—	7.1	—	8.0	—
経常利益 (億円)	44	7.2	46	4.4	48	3.5	53	11.1
当期純利益 (億円)	23	42.8	24	6.8	28	12.8	31	10.3
1株あたり当期純利益 (円)	46.26	—	49.41	—	56.88	—	62.76	—
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	3.8	—	4.0	—	4.5	—	4.9	—

■ 目標達成のために

オフィス機器部門

収益性を維持し、事業の再成長路線への転換を図る

オフィス事業

- ・高性能・高単価ホッチキスの普及を促し、市場全体の底上げを狙う
- ・ビーポップ事業において、ライトハウス社のノウハウを活用し、競争力のある消耗品を投入する

オートステープラ事業

- ・複写機メーカーの動向を捉え、デザイン・イン活動をさらに強化し、収益を拡大させる



インダストリアル機器部門

国内の着工変動に対応し、国内・海外で利益を生み出す事業構造へ変革する

機工品事業

- ・データマーケティングを活用し、適切な商品提案・供給を行う
- ・国内外で既存製品の水平展開をすすめ、事業全体を拡大させる

住環境機器事業

- ・顧客へのデザイン・イン活動を実施し、高付加価値製品の採用比率を高める



HCR 機器部門

高齢者の移動機器分野で収益力を回復させる

- ・大手レンタル事業者において、新製品のレンタル採用拡大を図る
- ・病院施設市場では、物件情報の入手をすすめ機種指定を獲得する
- ・生産性改善・部品コスト削減により、円安による原価上昇の影響を低減させ、収益を確保する



会社情報 / 株式の状況

会社概要 (平成26年3月31日時点)

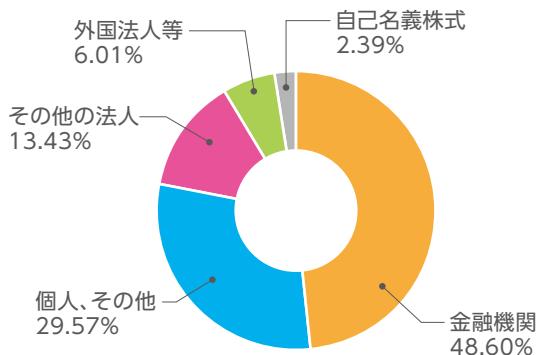
商号：マックス株式会社
 本社：東京都中央区日本橋箱崎町6番6号
 設立：昭和17年11月26日
 資本金：123億6千7百万円
 従業員：2,821名
 グループ会社：連結子会社24社
 (国内13社、海外11社)

取締役・監査役・執行役員 (平成26年6月27日時点)

代表取締役社長	川村 八郎	常勤監査役	亀ヶ谷 正次
専務取締役上席執行役員	塩川 博	常勤監査役	木暮 郷司
常務取締役上席執行役員	樋口 浩一	社外監査役	畠山 正誠
取締役上席執行役員	黒沢 光照	社外監査役	望月 眞宏
取締役執行役員	村山 恵司郎	上席執行役員	藤岡 龍司
取締役執行役員	岸 信夫	上席執行役員	柳澤 徳仁
取締役執行役員	浅見 泰	上席執行役員	中野 俊和
取締役執行役員	西川 博文	執行役員	加藤 賢二
取締役執行役員	角 芳尋	執行役員	山崎 隆
		執行役員	斎藤 篤

※監査役 畠山正誠、望月眞宏の両氏は、「会社法」第2条第16号に定める社外監査役です。

株式分布状況 (所有者別株式数比率) (平成26年3月31日時点)



発行可能株式総数：145,983,000株
 発行済株式の総数：50,500,626株
 株主数：4,575人

大株主 (上位10位まで) (平成26年3月31日時点)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	4,284	8.69
日本生命保険相互会社	3,893	7.90
マックス共栄会第一持株会	3,587	7.28
マックス共栄会第二持株会	2,813	5.71
株式会社みずほ銀行	2,344	4.76
株式会社群馬銀行	2,114	4.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,602	3.25
明治安田生命保険相互会社	1,588	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,333	2.70
マックス従業員持株会	1,062	2.16

※当社は平成26年3月31日現在で自己株式1,205,864株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

利益配分に関する基本方針 / 配当 / 株主メモ

利益配分に関する基本方針 / 配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、事業の成長を図り、事業利益を追求することにより自己資本当期純利益率(ROE)を向上させ、業績に裏づけされた成果の配分を行うことを基本方針としております。

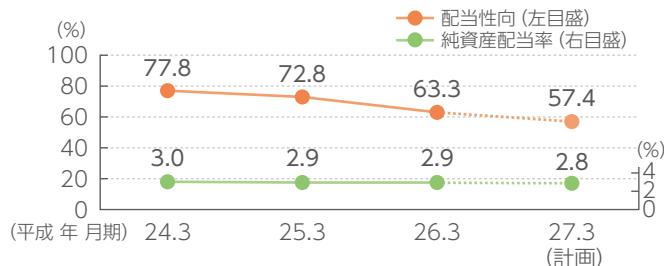
当社の配当政策は、連結決算を基準に「配当性向40%を下限とし、純資産配当率2.5%を目指す」を基本方針としています。

当期の配当につきましては、中長期的な業績動向及び財務状況などを総合的に勘案して、前期と同様の「1株あたり年間配当金36円」とさせていただきます。

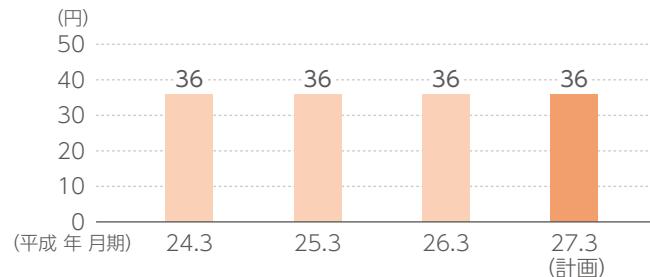
株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 其他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031 インターネットホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	1,000株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします。 http://www.max-ltd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京

■ 配当性向 / 純資産配当率の推移



■ 1株当たり配当金の推移



第4回 マックス 「心のホッチキス・ストーリー」

入賞作品が決定!

ホームページにて、「心のホッチキス・ストーリー」と題して、「あなたが今“心のホッチキス”を使って留めておきたいと思うこと」を公募し、厳正な審査の結果、入賞作品を決定しました。

応募作品の傾向

昨年は、東京での国際的なスポーツ大会の開催決定に日本中が沸き立つ中、“おもてなし”の一言が世界から注目されるとともに、我々日本人にも“人へのさりげない気遣い”や“思いやる心”について、あらためて考える機会を与えてくれた1年でした。

そのような中で集まった4,835件の作品には、日常での何気ない一言や振る舞いに多くのしあわせが詰まっており、日本人の根底にある思いやりの心を強く感じました。また今回から『マックス・U-18大賞』を“高校生の部”、“中学生の部”、“小学生の部”の3部門としましたが、それぞれの年代ならではの発想や視点で描かれた作品が多く集まりました。(誌面の制約から、“高校生の部”のみを掲載しています)

過去最多の応募数をいただいた今回の企画が、“明日からのがんばり”や“身近な人への感謝”を心のホッチキスであらためてとどめておく、そんなきっかけになれば大変うれしく思います。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。
https://wis.max-ltd.co.jp/event_op



※他の受賞作品もご紹介しています。



マックス・心のホッチキス大賞

熊本県 女性 30代 きんぎょさん

長男が2歳になった頃、私はシングルマザーの道を選んだ。母一人、子一人。地元での二人暮らし。実家の両親は、私たち親子を自立させる為、同居を拒んだ。

息子を育てて行く為に選んだ新しい仕事は、お給料を重視した分とても厳しく、毎日が戦いだった。研修中、グループの皆が居残って勉強するなか、一人、定時に帰る不安。まだまだ手がかり、育児を楽しむ余裕もない。

ある日、仕事で失敗し、泣きたい気持ちを抑えて息子に接していた。この子が寝るまでの我慢だ。この子が寝てから思い切り泣いたらいい。寝かしつけるため、布団に入った。目を閉じて寝たふりをする。しばらくして、静かになった息子。そろそろかなと思った時、突然、小さな腕が私を包んだ。

「ママ、がんばれ。」

こらえていた涙がポロポロと流れ落ちる。私は一人で戦っているわけじゃない。私の隣にはいつも、世界一の味方がいる。弱い自分に喝を入れながら、温かな気持ちで眠りについた。



マックス・U-18大賞(高校生の部)

三重県 女性 17歳 ひなびーさん

私のお父さんは、仕事が終わると、よく帰り道にケーキやアイスを買ってきてくれる。私や妹やお母さんの分だけ買って来て、いつも自分の分は買ってないから、私と妹から一口ずつあげるのが普通になっていた。どうして自分の分を買ってこないのかと聞くと、「いらんから買わんだけや」と言う。

けれども私は知っている。夜中、お父さんが「今日も一口くれたで、俺に」と、嬉しそうな声でお母さんに報告していたこと。「うちには、ええ子が二人産まれてきてくれたなあ」。漏れ聞こえてきたお母さんの言葉を私は一生忘れないだろう。

今日もお父さんは帰ってくるだろうか。一つ足りないお菓子の入った箱を抱えて。



印刷時に、VOC(揮発性有機化合物)などを含む湿し水が不要となる水なし印刷です。



CO₂を排出しないグリーン電力を一部使用している工場です。



石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたベジタブルインキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)に基づいた、読みやすい文字デザインを使用しています。